

ディプロマ・ポリシーに  
掲げる身に付ける能力

● 基盤的能力

研究分野における専門的な情報収集、課題発見と論理的思考、情報発信ができる。英語論文の専門的な読解と解説ができる。研究内容について他者と専門的な議論ができる。

■ 専門的学識

自立した研究者として専門分野における研究課題を把握し、その解決方法が提案できる。研究成果を専門分野の論文や学会で発表できる。

◆ 倫理観

研究不正について説明でき、研究倫理に関する高い規範意識を身に付けている。

★ 創造力

査読のある専門分野の学術雑誌に原著論文を発表できる。専門分野の学会で研究成果発表ができる。自分の研究成果をもとに、次の研究課題の設定と解決方法の考察ができる。

配当年次

授業形態

講義・演習・実習

一貫制 博士 課程	4年次	第4ターム	[10単位 必修]	[12単位 以上]	博士論文作成		
		第3ターム					
		第2ターム					
		第1ターム					
	3年次	第4ターム	生命・臨床医学 プログラム 専門科目		生命・臨床医学 プログラム 専門科目		
		第3ターム					
		第2ターム					
		第1ターム					
	2年次	第4ターム	生命・臨床医学特別研究		生命・臨床医学特別実習 ・選択科目	[4単位 必修] 大学院共通科目	[2単位 必修] 研究科共通科目
		第3ターム					
		第2ターム					
		第1ターム					
	1年次	第4ターム				研究倫理 ・科学技術と持続可能社会 ・学際融合発表演習Ⅰ ・学際融合発表演習Ⅱ	・医薬学プロフェッショナル 研究論 ・医療制度と医療経営特論
		第3ターム					
		第2ターム					
		第1ターム					

修了要件:30単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力

### ● 基盤的能力

幅広く豊かな学識と各々の専門分野における高度な知識・研究能力を基盤に、看護の対象者を全人的な観点から理解し、教育・研究・社会貢献に取り組むことができる能力を身に付けている。

### ■ 専門的学識

専門的な知識・技術の必要性が強調されるなか、個人・家族・集団・コミュニティの尊厳を重視し、看護の対象者を全人的な観点から理解でき、その知見を看護本来の機能に立ち返り、実践現場で活用し、教育研究に還元する能力を身に付けている。

### ◆ 倫理観

看護の学識者として責任と役割を果たす上での基盤となる看護哲学を身に付けている。  
自らの看護及び人生経験を通して看護観や世界観を深めていくと同時に、普遍性を有する看護哲学を追究し続けることができる能力を身に付けている。

### ★ 創造力

「実践の知を集積した学問」であるところの看護学の、学問体系構築に寄与しうる知見を蓄積し、研究手法について開発できる能力を身に付けている。

配当年次

授業形態

講義・演習・実習

博士後期課程	3年次	第4ターム	[10単位 必修]	博士論文作成			
		第3ターム					
		第2ターム					
		第1ターム					
	2年次	第4ターム	看護科学プログラム 専門科目  ・看護科学特別研究	[7単位 以上]	看護科学プログラム専門科目  <いずれかを選択必修> ・医学連携特論, 看護科学特論  <いずれかの特論, 演習を選択必修> ・基礎看護科学特論, 基礎看護科学演習	[3単位 以上]	大学院共通科目  ・学際融合発表演習Ⅰ ・学際融合発表演習Ⅱ ・選択科目
		第3ターム					
		第2ターム					
		第1ターム					
	1年次	第4ターム			・臨床・生体機能看護科学特論, 臨床・生体機能看護科学演習  ・地域ケアシステム看護科学特論, 地域ケアシステム看護科学演習		[2単位 必修] 研究科共通科目  ・医薬学プロフェッショナル研究論 ・医療制度と医療経営特論
		第3ターム					
		第2ターム					
		第1ターム					

修了要件: 22単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力

### ● 基盤的能力

研究遂行に必要な基礎及び臨床薬学に関する知識、疾患に関する幅広い学識と総合的な判断力を身に付けている。

### ■ 専門的学識

臨床薬学やデータサイエンス等を基盤とした先端医療に関連する領域で自立的に活躍する「研究者・教育者・薬剤師・行政職員、医薬品製造・開発者」として必要な専門知識、技術、態度、並びに疾病の理解を含む医学および薬学的素養を身に付けている。

### ◆ 倫理観

研究倫理や関連する法令の規範意識及び人間尊重の精神を身に付けている。

### ★ 創造力

臨床薬学関連領域における背景を理解した上で解決すべき課題を設定し、専門知識、技術を統合、応用した創造性の高い研究により新たな知見を見いだして課題を解決する能力、並びに研究成果の学術的、社会的意義を説明、議論し、国際社会に発信できる能力を身に付けている。

配当年度 授業形態

講義・演習・実習

一貫制博士課程	4年次	第4ターム	[10単位 必修]	[9単位 必修]	博士論文作成			
		第3ターム						
		第2ターム						
		第1ターム						
	3年次	第4ターム	臨床薬学プログラム プログラム 専門科目		臨床薬学プログラム プログラム 専門科目			博士前期課程 先端薬科学プログラム プログラム 専門科目
		第3ターム						
		第2ターム						
		第1ターム						
	2年次	第4ターム	臨床薬学特別研究		薬学連携特論 臨床薬学特論 臨床薬学特別演習	[4単位 必修]	大学院共通科目	
		第3ターム						
		第2ターム						
		第1ターム						
	1年次	第4ターム				[2単位 必修]	研究科共通科目	
		第3ターム						
		第2ターム						
		第1ターム						

修了要件: 30単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格

ディプロマ・ポリシーに  
掲げる身に付ける能力

● 基盤的能力

研究遂行に必要な最先端  
創薬に関する幅広い学識と  
総合的な判断力を身に付け  
ている。

■ 専門的学識

薬科学及び学際的領域で自立的に活躍  
する研究者・教育者・技術者、及び医薬  
品の創製、開発、生産、普及を担う専門  
家として必要な専門知識、技術を身に付  
けている。

◆ 倫理観

研究倫理や関連する法  
令の規範意識及び人間  
尊重の精神を身に付けて  
いる。

★ 創造力

薬科学関連領域における背景を理解した上  
で解決すべき課題を設定し、専門知識、技  
術を統合、応用して創造性の高い研究によ  
り新たな知見を見いだして課題を解決する  
能力、並びに研究成果の学術的、社会的意  
義を説明、議論し、国際社会に発信できる能  
力を身に付けている。

配当年次

授業形態

講義・演習・実習

博士 後期 課程	3年次	第4ターム	[10単位 必修]	[3単位 必修]	博士論文作成			
		第3ターム						
		第2ターム						
		第1ターム						
	2年次	第4ターム	先端薬科学 プログラム 専門科目  ・先端薬科学特別研究	先端薬科学 プログラム 専門科目  ・薬学連携特論 ・先端薬科学特別演習	大学院共通科目  ・学際融合発表演習 I ・学際融合発表演習 II	研究科共通科目  ・医薬学プロフェッショナル 研究論 ・医療制度と医療経営特論	博士前期課程 先端薬科学 プログラム 専門科目	
		第3ターム						
		第2ターム						
		第1ターム						
	1年次	第4ターム						
		第3ターム						
		第2ターム						
		第1ターム	■◆★	●■★	●■◆★	●■◆	●■	

修了要件：18単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格